

平成25年 1月15日

お知らせ

資料提供先：鳥取県政記者クラブ
鳥取市政記者クラブ

参加費無料

「気候変動にともなう防災・減災に関するフォーラムを開催」

～想定を超える災害にどう備えるか～

このたび、「気候変動にともなう防災・減災に関するフォーラム」を下記のとおり開催いたしますのでお知らせいたします。

記

開催日時：平成25年1月26日（土）13：30～16：30

開催場所：鳥取市民会館 大ホール 定員 200名

（開催趣旨）

近年、地球温暖化にともなう気候変動による影響として、水災害、土砂災害、高潮災害の頻発化、激甚化が懸念されています。

平成24年7月に北部九州を襲った豪雨では、国が管理する花月川や矢部川の堤防が決壊したため、甚大な浸水被害が発生し、多くの人々が避難生活を余儀なくされました。

かつて豪雨時に堤防の見回りをし、水害時の避難や水防活動の母体であった地域社会は大きく変わり、千代川流域においても地域の水害履歴を知らない住民が増えています。大人たちの水害への備えが不十分な中、子どもたちに水害体験はほとんど伝えられていません。

そのような中で、平成22年度にはじまった「気候変動にともなう防災・減災を考える会」（千代川流域圏会議・分科会）では、水災害に対して「犠牲者ゼロ」に向けたソフト的な対策に取り組んでいます。

このフォーラムは、**洪水がきても「我が身は自分で守り、みんなで守る」**ための経験と知恵を学び、住民と行政機関との連携のもと、地域社会で水災害への備えを行っていくために企画したものです。

問い合わせ先

国土交通省 中国地方整備局 鳥取河川国道事務所

TEL：0857-22-8435(代)

FAX：0857-29-8548

副所長（河川）

いぬやま 犬山 ただし 正

【担当】

防災課長

ふくむら 福村 まこと 誠

鳥取河川国道事務所ホームページアドレス

<http://www.cgr.mlit.go.jp/tottori/>

※取材について

講演会は全て公開で実施します。撮影は可能ですが、進行の妨げにならないようお願いします。

気候変動にともなう 防災・減災に関するフォーラム

想定を超える災害にどう備えるか

参加費無料
定員先着200名

平成25年**1月26日(土)** 会場／鳥取市民会館 大ホール
【開場】13:00 【開演】13:30 【終了】16:30 鳥取市掛出町12番地 TEL 0857-24-9412

内容

第1部 講演

講演者

山本正司(国土交通省 中国地方整備局 土砂防災対策分析官)
久保正彦(佐用町企画防災課 まちづくり企画室長)

第2部 パネルディスカッション

パネラー

檜谷 治(千代川流域圏会議・分科会委員長・鳥取大学大学院 教授)
谷口 聡(富桑地区防災・防犯連絡協議会 副会長)
山根洋治(鳥取市自主防災会連合会 明德地区評議員)
前田 誠(鳥取市自主防災会連合会 大正地区評議員)
松下達夫(鳥取市防災調整監危機管理課 参事)
丸毛裕治(鳥取県県土整備部 河川課長)
犬山 正(鳥取河川国道事務所 副所長)

コーディネーター

裕見 吉晴(鳥取大学大学院 教授)

参加お申し込み方法

参加希望の方は、郵便番号、住所(聴講券送付先)、電話番号をご記入の上、FAX(裏面申込書)、メール、ホームページにてお申し込みください。

締め切り／平成25年1月19日(土)必着

※定員200名になり次第、締め切らせていただきます。あらかじめご了承ください。

※参加者には、折り返し「聴講券」を送付いたします。当日は受付にて「聴講券」をご提示の上、ご入場いただきます。

申し込み先・お問い合わせ先

国土交通省 鳥取河川国道事務所 防災課内
「気候変動にともなう防災・減災に関するフォーラム」係
〒680-0803 鳥取市田園町4-400

TEL 0857-22-8435

FAX 0857-29-1859

E-MAIL info-tottori@cgr.mlit.go.jp

気候変動にともなう防災・減災を考える会
HPアドレス

http://www.cgr.mlit.go.jp/tottori/river/conference2/top_bunka.html

主催／千代川流域圏会議、国土交通省鳥取河川国道事務所



気候変動にともなう防災・減災に関する講演会

～住民、地域社会は何ができるのか？～

＜開催趣旨＞

近年、地球温暖化にともなう気候変動による影響として、水災害、土砂災害、高潮災害の頻発化、激甚化が懸念されています。

平成24年7月に北部九州を襲った豪雨では、国が管理する花月川や矢部川の堤防が決壊したため、甚大な浸水被害が発生し、多くの人々が避難生活を余儀なくされました。

かつて豪雨時に堤防の見回りをし、水害時の避難や水防活動の母体であった地域社会は大きく変わり、千代川流域においても地域の水害履歴を知らない住民が増えています。大人たちの水害への備えが不十分な中、子どもたちに水害体験はほとんど伝えられていません。

そのような中で、平成22年度にはじまった「気候変動にともなう防災・減災を考える会」（千代川流域圏会議・分科会）では、水災害に対して「犠牲者ゼロ」に向けたソフト的な対策に取り組んでいます。

このフォーラムは、洪水がきても「我が身は自分で守り、みんなで守る」ための経験と知恵を学び、住民と行政機関との連携のもと、地域社会で水災害への備えを行っていくために企画したものです。

会場案内図



（徒歩）JR鳥取駅から若桜街道を県庁方向へ約20分

（バス）鳥取駅バスターミナル（JR鳥取駅横）湖山・鳥大・賀露線など「本町1丁目」下車

* 100円循環バス「くる梨」利用の場合

「市役所日赤前」「市民会館」下車（約15分）

「気候変動にともなう防災・減災に関する講演会」参加申込書(FAX用)

名 前	住 所	電話番号
〒 -		
〒 -		
〒 -		
〒 -		